

第55回 日本社会心理学会 公開シンポジウム

消費の**病**理

～逸脱的消費者行動の現状に迫る～

本シンポジウムでは「逸脱的消費者行動」の中でも、依存や過剰な苦情行動などに焦点を当てて議論します。各問題の心理的・社会的背景を検討し、予防や対策において心理学に何が出来るのかを考えます。

報告者 廣中直行 精神薬理学, 嗜癖行動研究
NTTコミュニケーション科学基礎研究所人間情報研究部研究員
「消費は快樂か? 情動と意思決定から『逸脱』を考える」

神村栄一 臨床心理学(認知行動療法)
新潟大学人文社会・教育科学系准教授
「ギャンブル依存支援から見えた心理」

池内裕美 社会心理学, 消費心理学
関西大学社会学部教授
「モンスター化する消費者たち」

指定討論者
秋山 学
神戸学院大学人文学部人間心理学科教授

司 会
唐沢 穰
名古屋大学大学院環境学研究科・心理学講座教授

日時 2011年6月18日(土) 13:00～17:00

会場 関西大学千里山キャンパス第3学舎
ソシオAV大ホール (D101 教室)
(阪急電鉄 千里線「関大前」駅下車 徒歩約5分)

参加費 無料(予約不要)

主催 日本社会心理学会 <http://www.socialpsychology.jp/>